

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課：道路街路課

1 事業概要 (整備目的)	事業名：一般県道東風平豊見城線道路改築事業		前再評価年度：平成19年度		
	事業種別：一般県道改築事業	事業主体：沖縄県		(H10～H22)	
	事業箇所：豊見城市	根拠法令：道路法		事業期間：H10～H31	
	総事業費(百万円)：(18,310) 21,800	費用内訳：補助 9/10		(L=4.67km・W=30.0m) 事業量：L=4.67km・W=30.0m	
1-2 前再評価以降の計画変更	平成23年1月に電線共同溝整備道路の指定を受け、68号地区において、0.7kmの区間が電線共同溝整備路線となった。また、事業期間及び事業費の変更を行った。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他（ ） ・翁長地区において、単価や条件により、必要なまとまった用地の取得に時間を要し工事着手が遅れている。				
4 事業の進捗状況 (H26.3月時点)	項目	事業費(百万円)	整備済み(km)	用地取得(千㎡)	
	計画	21,800	4.67	124.0	
	実施済	19,805	2.51	91.3	
	率	91%	54%	74%	
4-2 前再評価以降の主な進捗	渡橋名地区において、延長500m、4車線整備を完了している。				
5 事業効果の評価指標 (検討年50年) (基準年H26) (単位：百万円)	① 走行時間短縮	69,430		① 事業費	21,800
	② 走行経費低減	11,720		② 維持管理費	650
	③ 交通事故減少	1,000			
	総便益	82,150		総費用	22,450
	基準年換算(B)	29,950		基準年換算(C)	27,230
	費用便益比 (B/C) = 29,950 / 27,230 = 1.1				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済： <ul style="list-style-type: none"> 豊見城地先開発事業の分譲状況は、平成26年3月末で住宅用地74%、商業施設用地100%、臨空港産業用地34%、都市開発関連用地95%と順調に進捗している。 平成22年5月に「美らSUNビーチ」がオープンしたほか、アウトレットモールあしびなーの施設増設や、レンタカー基地の立地、運転免許センターの移転など、新たな観光需要・雇用の創出が進んでいる。 平成24年4月には、埋立地区内に豊崎小学校が開校した。 平成27年には暫定2車供用中の豊見城道路が全面供用される予定である。 豊崎地区は、沖縄県が整備を計画している大型MICE施設の候補地となっている。 ② 地元・自治体：平成24年7月及び平成26年7月に豊見城市から、「東風平豊見城線」の早期整備要望が提出されている。				
7 事業の必要性・効率性	③ 利害関係者：一部に単価や条件に不満はあるものの概ね事業に理解を示している。				
8 今後の対応・見直し	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： <ul style="list-style-type: none"> ホテル・大型商業店舗・工業団地の進出に伴い、急速な市街化が進んだため、事業区間の周辺道路は慢性的な交通渋滞を呈しており、早急な渋滞緩和が必要である。 豊崎地区には多くの住宅やマンションが建設され定住化が進んでおり、人口は計画人口7,000人に対し、平成26年3月で4,202人となっていることから、アクセス機能の強化が急務である。 事業区間には、上田小学校外6校、豊見城市役所、豊見城中央病院等が位置しているが、周辺道路は歩道幅員が狭小のうえ通過交通も多いことから、安全な歩行空間の創出が必要である。 ② 事業の効率性（代替案等の可能性やコスト削減）： <ul style="list-style-type: none"> 終点の豊崎地区は供用済みであり、国道331号豊見城道路に連結している。また、全取得用地の74%が取得済となっていることから、現計画の推進が効率的である。 ③ 事業効果の発現状況： <ul style="list-style-type: none"> 渡橋名地区の一部で、4車線の整備が完了しているものの、前後の工区が未完のため、十分な効果が発現していない。 				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・沿線に学校が多く立地するため、通学路の安全に配慮した整備をして頂きたい。				

* 1事業概要の上段()は前再評価時点の計画